

## 獨協中学・高等学校の財務について

本校の平成22年度決算および平成23年度予算の概要を、消費収支・資金収支計算書で簡潔に説明いたします。なお、獨協学園全体の財務情報については、獨協学園のホームページ <http://www.dac.ac.jp/> に詳しく掲載しておりますのでご覧ください。

### 1. 消費収支計算書の概要(表1参照)

22年度決算では、帰属収入合計は予算対比26百万円増の1,463百万円となりました。基本金組入額が11百万円となったことから、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入の部合計は1,452百万円となりました。一方、消費支出の部合計は予算対比1百万円増の1,383百万円となりました。その結果、当年度消費収支差額は69百万円の収入超過となりました。また、帰属収支差額でも80百万円の収入超過となりました。

増減の主なものとして、収入面では寄付金、補助金等の増、基本金組入額の減などがあり、支出面では人件費の増、教育研究経費、管理経費の減などがあげられます。

23年度予算では、帰属収入合計は前年度決算比70百万円減の1,393百万円、基本金組入額60百万円で、消費収入の部合計は前年度決算比119百万円減の1,333百万円を見込みました。一方、消費支出の部合計は前年度決算比52百万円減の1,331百万円を見込み、帰属収支差額では62百万円の収入超過を、消費収支差額でも2百万円の収入超過を予想しております。

増減(前年度決算比)の主なものとして、収入面では学生生徒等納付金、補助金、基本金組入額の増、寄付金、雑収入他の減などがあり、支出面では人件費、教育研究経費の減、管理経費の増などがあげられます。

### 2. 資金収支計算書の概要(表2参照)

22年度決算では、前年度繰越支払資金は1,280百万円で、収入の部合計で予算対比81百万円増の3,234百万円となりました。資金収入から支出を差し引いた次年度繰越支払資金は、予算対比3百万円増の1,236百万円となりました。

23年度予算では、収入の部合計は前年度決算比168百万円増の3,402百万円を見込みました。次年度繰越支払資金は前年度決算比98百万円減の1,138百万円を予想しております。

## 平成22年度事業報告と平成23年度事業計画について

### 1. 平成22年度事業報告の概要

授業評価の結果を受け、各教科・各学年において内容を分析し、次回授業評価に向けて対策と目標を策定しました。その間、校長による面談を行い、より効果的なものになりました。

また、学力分析を基に教育課程表の整備、シラバスの見直しを行うと同時に、個々の教員が有機的につながるよう組織改革に着手し、生徒の学力向上に努めました。種々の改革に努めた結果、環境教育の実践と相俟って受験生の評価が高まり、中学受験も順調に受験生を集めています。

教員室の拡張工事については、来年度施行に変更になりました。

校舎の外壁塗装や日新寮工事に関しては、修繕内容を増やし予算超過したものの、人工芝張替において値下げ交渉をしたことにより当初予算枠を超えない結果となりま

した。

### (1) 教学関係

#### 授業評価・自己点検・自己評価

非常勤講師を含む全教員の「授業評価」を昨年に引き続き実施しました。また、新たに、「目標管理および自己評価制度の導入」、「強固な組織基盤をつくるためのPDCAの確立」をコンサルタント会社の支援を得ながら検討しました。

#### 教育課程表整備

指導要領の改訂時期に向けて、中長期ビジョンに即した本校の教育課程表を策定しました。本年度は高校の教育課程表を策定しました。

#### シラバスの見直し

前年度シラバスの見直しを行い、中長期ビジョンを踏まえた実行力あるシラバスに策定し直しました。

#### 学力分析

中学実力試験、高校模擬試験を各関係部署で緻密に分析し、必要な施策を講じることによって生徒の学力向上を図りました。なお、分析に当っては外部の教育関係機関を有効に利用しました。

#### 環境教育

従来に取り組みに加えて校庭にシイ、タブ、カシを含めた42種、300本の苗木を植樹するなど本校のサイエンス教育の柱である環境教育をより発展させました。

#### 中学入試

生徒募集対策をより強化するため、ポータルサイトを利用して、学内における学校説明会を1学期から開始し、学校紹介ビデオを作り替えました。

### (2) 施設・設備関係

#### 教員室の拡張

教員室を全教員用に拡張するべく検討を開始し、施行は来年度以降としました。

#### 校舎外壁塗装補修

第2期工事として校舎北面の外壁塗装を行いました。

#### 中庭人工芝張替

中庭人工芝の張替更新工事を行いました。

#### グラウンド万年堀改修

グラウンド南側(教会側)の万年堀を一部撤去し、植樹帯に改修しました。

#### 日新寮内外装補修他

校外教育施設「日新寮」の外壁塗装・内装補修工事、設備家具等の更新を行いました。

#### 海の家倉庫改修

校外教育施設「海の家」の倉庫を改修しました。

## 2. 平成23年度事業計画の概要

### (1) 財務の現状と課題

本校の財務は、平成19年度に「帰属収支差額」「消費収支差額」共に黒字に転換して以降順調に推移し、平成21年度では「減価償却引当特定資産」への積み立てを開始、続く平成22年度では「退職給与引当特定資産」への積み増しも行うなど、財務内容の改善が着実に進んでいます。

また、平成23年度予算では「第6次基本計画」の主要数値目標との大幅な乖離もなく、基本計画初年度としての順調なスタートが切れるものと考えます。

なお、引き続き良質な生徒獲得による安定した収入確保を図り、併せて、人件費や諸経費を抑制する等の諸施策を講じることにより、更なる強固な財務基盤を構築

し、将来の校舎再建築に備えることとしています。

(2) 主要方針

生徒の人間性、学力の一層の向上を目指す学校改革をより強力で押し進めることによって、生徒の夢(将来の進路)を実現させるとともに、社会に貢献できる人材の育成を図り、熾烈な学校間競争を勝ち抜ける「魅力あふれる学校」づくりを目指します。

(3) 教学関係の主要事業計画

授業評価の実施

非常勤講師を含む全教員の「授業評価」を21年、22年に引き続き実施し、本年度はその結果を踏まえ、授業研究、授業改善に強力で取り組みます。

目標管理および自己点検・自己評価制度の導入

22年度に、制度導入の方策等をコンサル会社と共に検討してきたが、本年度は全教職員の「自己点検・自己評価」を実施し、個々人の能力アップに繋げることとします。

新高校教育課程表の施行に伴う諸施策の定着化

高校2年次の文系・理系のコース制、3年次の志望校別コース制を導入し、2年次から6クラスへの編成替えも行ないます。また、中学3年生から選抜クラスを1クラス設置します。

シラバスの見直し

新教育課程表の施行に伴い、本校の「中・長期ビジョン」実現のための、より充実した新シラバスを策定します。

学力分析

各教科、各学年において、定期考査、中学実力試験、高校模擬試験の結果を、生徒の生活状況を含めて各関係機関で緻密に分析し、学力向上を図ります。なお、分析・対策等は外部教育機関、コンサル会社を有効活用します。

中学入試

再編著しい塾関係雑誌への広告と急激に広がる Web 広告への掲載を重点的に実施します。また、校長の交代に伴い、学校案内やDVDコンテンツ等のリニューアルを行います。

環境教育

従来のような取組みに加え、校舎周囲に植樹を行うこと等で環境教育をより発展させることとします。

チューター制の導入

自習室に大学生のチューターを置き、生徒の学習面のみならず進路についても指導、助言をしてもらう予定です。

(4) 施設・設備関係の主要事業計画

教員室改修工事

研究室制を廃止し、全教員(含む、非常勤教員の一部)が在席できるよう、教員室を拡張、整備します。同時に、校長室、理事長室、面談室も改修することとなります。

教員室他機器備品購入

教員室改修に伴うキャビネット類を購入します。

生徒用パソコン、サーバー入れ替え

耐用年数オーバーのPC教室の生徒用パソコンとサーバーを更新します。

グラウンド万年塀改修工事

22年度に引き続き、グラウンド正面入り口の老朽化した万年塀を改修します。

以上

(単位:千円 端数未調整)

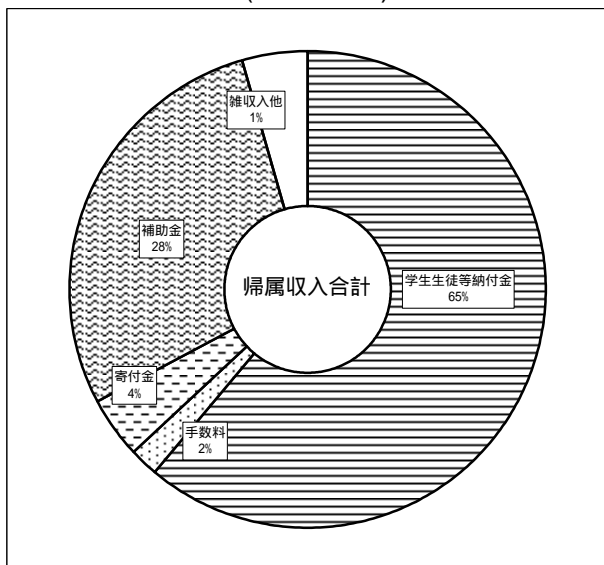
消費収入の部						
科 目	H22予算	H22決算		差異	H23予算	差異
	a	b	構成比	b-a	c	c-b
学生生徒等納付金	892,941	892,745	61%	196	901,527	8,782
手数料	28,940	30,887	2%	1,947	28,440	2,447
寄付金	53,820	60,814	4%	6,994	34,210	26,604
補助金	398,504	415,208	28%	16,704	421,261	6,053
雑収入他	62,647	63,691	4%	1,044	7,727	55,964
帰属収入 合計	1,436,852	1,463,344	100%	26,492	1,393,165	70,179
基本金組入額	53,650	11,413		42,237	60,500	49,087
消費収入の部 合計	1,383,202	1,451,931		68,729	1,332,665	119,266

消費支出の部						
科 目	H22予算	H22決算		差異	H23予算	差異
	a	b	構成比	b-a	c	c-b
人件費	983,834	999,129	72%	15,295	946,800	52,329
教育研究経費	322,294	315,070	23%	7,224	302,268	12,802
管理経費	47,312	39,750	3%	7,562	51,659	11,909
法人負担金他	28,060	28,902	2%	842	30,070	1,168
消費支出の部 合計	1,381,500	1,382,851	100%	1,351	1,330,797	52,054
当年度消費収入超過額	1,702	69,080		67,378	1,868	67,212

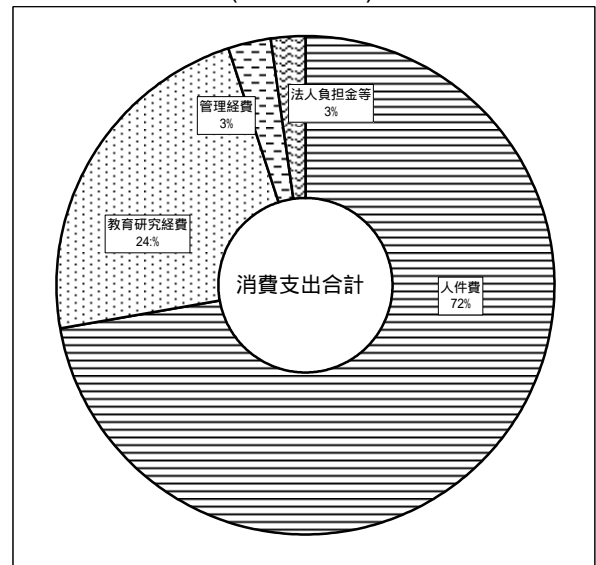
帰属収支差額	55,352	80,494		25,142	62,368	18,126
--------	--------	--------	--	--------	--------	--------

## 平成22年度 消費収支決算 科目別構成

(帰属収入)



(消費支出)



資金収支の概要

表 2

(単位:千円 端数未調整)

資 金 収 入 の 部					
科 目	H22予算	H22決算	差異	H23予算	差異
	a	b	b-a	c	c-b
学生生徒等納付金収入	892,941	892,745	196	901,527	8,782
手数料収入	28,940	30,887	1,947	28,440	2,447
寄付金収入	53,800	60,791	6,991	34,190	26,601
補助金収入	398,504	415,208	16,704	421,261	6,053
資産運用収入	2,440	2,284	156	2,440	156
事業収入	2,900	2,823	78	2,900	78
雑収入	57,307	58,585	1,278	2,387	56,198
前受金収入	162,400	152,465	9,935	154,000	1,535
その他の収入	543,926	554,916	10,990	772,764	217,848
資金収入調整勘定( )	217,536	216,940	596	157,657	59,283
前年度繰越支払資金	1,226,790	1,280,111	53,321	1,239,446	40,664
収入の部合計	3,152,412	3,233,872	81,461	3,401,698	167,826

資 金 支 出 の 部					
科 目	H22予算	H22決算	差異	H23予算	差異
	a	b	b-a	c	c-b
人件費支出	1,047,570	1,045,590	1,980	912,800	132,790
教育研究経費支出	234,572	227,623	6,949	211,081	16,542
管理経費支出	44,660	37,026	7,634	48,895	11,869
施設関係支出	40,000	26,454	13,546	34,000	7,546
設備関係支出	13,650	15,980	2,330	31,550	15,570
資産運用支出	526,350	626,566	100,216	724,406	97,840
その他の支出	94,020	103,821	9,801	231,040	127,219
[予備費]	3,000	0	3,000	3,000	3,000
資金支出調整勘定	159,610	163,266	3,656	10,301	152,965
次年度繰越支払資金	1,233,140	1,236,272	3,132	1,138,157	98,114
(小計)	3,077,352	3,156,067	78,715	3,324,628	168,561
内部資金支出	50,000	50,000	0	50,000	0
法人負担金等支出	25,060	27,805	2,745	27,070	735
支出の部合計	3,152,412	3,233,872	81,461	3,401,698	167,826